

元消防長の中村さん 危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）を受章

元町消防本部司令長（消防長）の中村諭さん(64)＝町商工会事務局長＝が、危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）を受章しました。5月31日に戸田安彦町長から勲記と勲章が伝達され、「このような名誉を大変感謝しています。周囲の支えがあったからこそと思います」と謝辞を述べました。

中村さんは平成29年の退職まで21年余、消防職員として地域住民の安全確保に尽力し、消防行政の発展に貢献したことが評価されました。

2000年の有珠山噴火や2011年の東日本大震災などでの応援、派遣調整をはじめ、個々の災害現場での痛ましい記憶を心に残しながらも「みんなと一緒に全力を尽くした達成感がありました」と振り返っていました。「私の集大成として、（叙勲に）恥じないよう残りの人生を生きていきたい」と受章を励みにしていました。



第71回「社会を明るくする運動」

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

「社会を明るくする運動」とは？

すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせて、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする運動です。

本町においてもこれらの趣旨に従い、関係機関が協力して地区推進委員会を組織して広くこの運動を展開しており、この7月に各小中学校の校門付近で「あいさつ（声かけ）運動」を行います。

各小中学校「あいさつ運動」の日程

| | | |
|---------|-------------|---------|
| 7月1日(木) | 7時30分～8時 | 白老小 |
| 2日(金) | 7時30分～8時10分 | 萩野小、白翔中 |
| 6日(火) | 7時55分～8時15分 | 竹浦小 |
| 7日(水) | 7時40分～8時10分 | 白老中 |
| 8日(木) | 7時30分～8時 | 虎杖小 |

7月は“社会を明るくする運動”強調月間・再犯防止啓発月間です。

問い合わせ先：社会を明るくする運動白老地区推進委員会事務局（生涯学習課） ☎85-2020

知っておこう アイヌ文化

シト

イランカラッテ。アイヌ文化における冠婚葬祭で欠かせない料理といえ、シト（団子）があります。祝い事や先祖供養では必ず、たくさんのシトを作って、供え物としてだけではなく、儀式に出席した人々のお土産としても振る舞われます。シトの材料は、古くからアイヌ民族が農耕によって収穫したアワやキビなどの穀物が使われ、昭和以降には上新粉やもち米、白玉粉が主流となっていきました。チキサニでは、森野地区でアワ・ヒエ・キビといった穀物の栽培を毎年行っており、収穫した穀物は、イオル体験交流事業の伝統食試食体験などで利用しています。例えば、5月15日(土)に森野地区で開催した山のイオル「野外学習」では、参加者にキビを使ったシト作りを体験して頂きました。昨年、森野地区で収穫し、水に浸したキビをニス（臼）とイウタニ（杵）でついて粉にする作業は、大人でも力と根気のいる作業で、イウタウポポと呼ばれる歌で拍子を取りつつも、電動ミルサーのありがたみを実感し、手を休める大人をよそに、山のイオル「野外学習」でシト作りを行う参加者参加した子どもたちは夢中になってつき続け、キビを粉状にすることができました。上新粉と水を加え、こねて成形したシトはキナオハウ（山菜汁）に入れ、参加者全員でいただきました。シトは素朴な味わいですが、何よりおいしいものを感じ、改めてアイヌ民族がカムイ（神）ととらえていた自然から与えられた食べ物によって、私たちが生かされていることを実感しました。



政策推進課 アイヌ政策推進室 学芸員 森洋輔

問い合わせ先：イオル事務所 チキサニ ☎82-6301